

Economic Trends

発表日：2025 年 6 月 27 日（金）

都区部版・日銀基調的インフレ率の試算（2025/6）

～6 月の伸び率はいずれも低下～

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 星野 卓也（Tel：050-5474-7497）

資料 1. 数表：試算した都区部版・基調インフレ率と日銀の全国 CPI 基調インフレ率（前年比・％）

	刈込平均値 東京	刈込平均値 東京_全国 ウェイト	刈込平均値 全国	加重中央値 東京	加重中央値 東京_全国 ウェイト	加重中央値 全国	最頻値東京	最頻値全国	低変動CPI 東京	低変動CPI 全国
	筆者作成	筆者作成	日銀公表値	筆者作成	筆者作成	日銀公表値	筆者作成	日銀公表値	筆者作成	筆者作成
2024年7月	1.8	2.0	1.8	0.6	0.7	1.1	1.5	1.5	1.3	1.2
2024年8月	1.9	2.0	1.8	0.6	0.7	0.7	1.4	1.3	1.2	1.1
2024年9月	1.8	2.0	1.7	0.6	0.6	0.8	1.4	1.4	1.4	1.2
2024年10月	1.5	1.7	1.5	0.7	0.7	0.8	1.3	1.3	1.3	1.1
2024年11月	1.9	2.0	1.7	0.7	0.8	0.9	1.3	1.1	1.3	1.1
2024年12月	2.0	2.1	1.9	0.8	0.9	1.0	1.4	1.1	1.4	1.1
2025年1月	2.3	2.6	2.2	0.9	1.1	1.4	1.7	1.3	1.6	1.2
2025年2月	2.0	2.5	2.2	0.8	1.0	1.4	1.6	1.2	1.6	1.2
2025年3月	2.4	2.6	2.2	0.9	1.2	1.4	1.8	1.4	1.8	1.2
2025年4月	2.5	2.8	2.4	1.4	1.6	1.7	1.5	1.8	2.1	1.3
2025年5月	2.6	2.8	2.5	1.4	1.6	1.7	1.7	1.6	2.1	1.4
2025年6月	2.3	2.5		1.2	1.2		1.4		1.9	

（注1） 日銀公表値に倣う形で、以下で各値を求めている。刈込平均値：価格品目別上昇率分布の上下 10%（ウェイトベース）を除き、前年比を算出、加重中央値：価格品目別上昇率分布における 50%近傍の値の前年比（ウェイトベース）、最頻値：各品目別の価格上昇率分布から最尤法でパラメトリックに分布を推定（正規逆ガウス分布）。得られた分布の最頻値。

（注2） 低変動品目 CPI の作成方法は尾崎・神保・八木・吉井（2024）に倣っている。品目別 CPI の標準偏差の大小で 3 つにグルーピングを行い、標準偏差の小さいグループの上昇率を示す。「低変動 CPI_東京」については、全国版の品目グルーピングで都区部 CPI を集計した値。

（注3） 日銀は一部品目・影響の除去を行っているが本試算では行っていない等、一部手法に異なる点がある点に留意。直近値は東京都都区部の中旬速報値、過去値は確定値より作成。

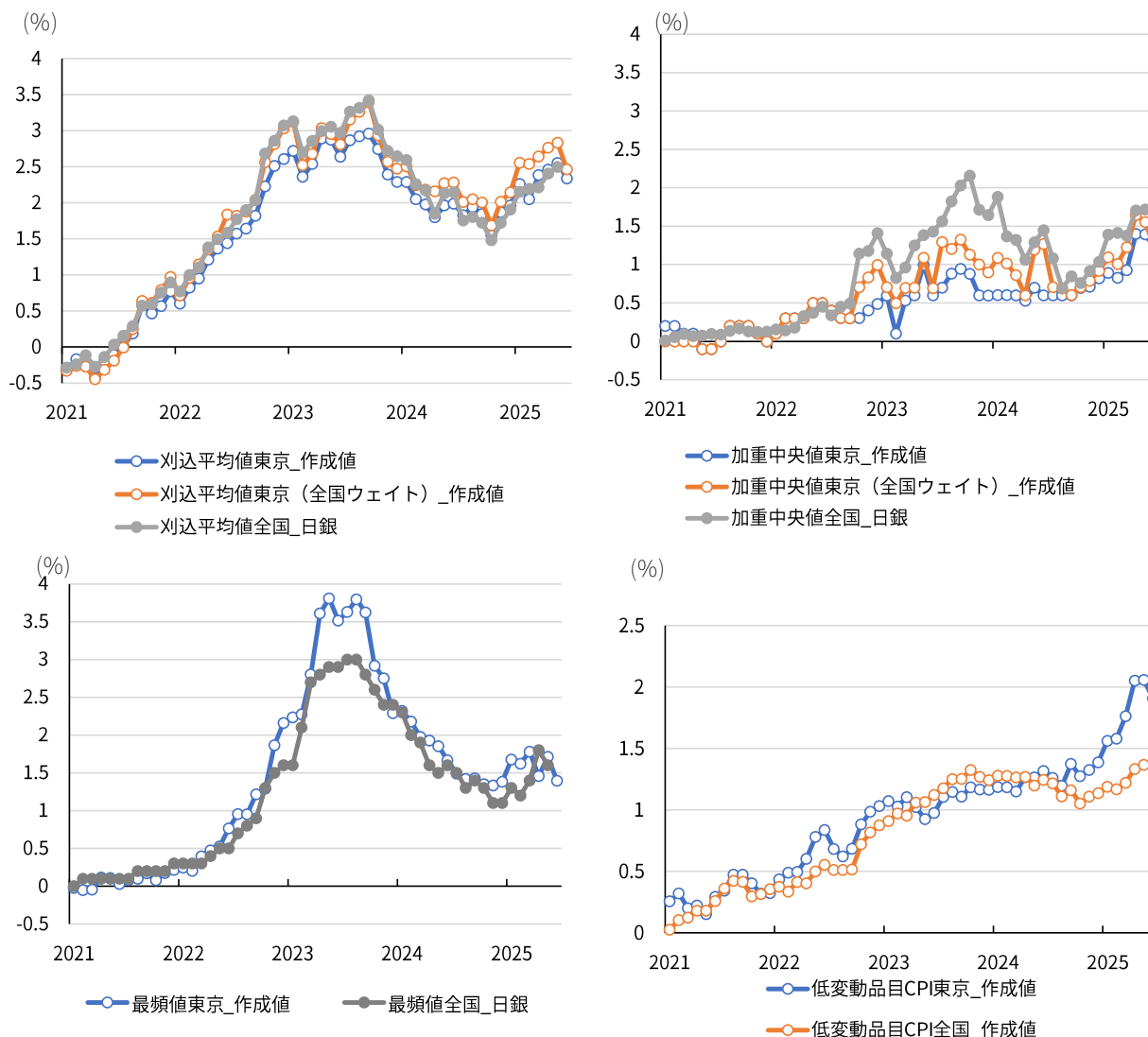
（出所）総務省、日本銀行より第一生命経済研究所が作成。

○いずれも前年比伸び率は低下

以前のレポートで試算した①東京都都区部版の基調的インフレ率 3 指標、②日銀が賃金から物価への波及度合いを分析する際に利用した低変動品目 CPI について、本日公表の 6 月都区部 CPI を用いて計算した。

計算値をみると、刈込平均値（全国ウェイト換算）は 5 月：+2.8%→6 月：+2.5%、加重中央値（全国ウェイト換算）は 5 月：+1.6%→6 月：+1.2%、最頻値は 5 月：+1.7%→6 月：+1.4%（いずれも前年比）となった。また、全国版の低変動品目 CPI は 4 月：+1.3%→5 月：+1.4%、都区部では 5 月：+2.1%→6 月：+1.9%となった。6 月の基調的インフレ率指標は全般的に伸び率が低下。一服感が生じており、物価上昇の波及が強まっていく、という様子ではなさそうだ。従来から日本銀行はトランプ関税の影響見極め、の観点で様子見姿勢を続けているが、物価の観点でも利上げを急ぐ内容ではないだろう。

資料2. 試算した都区部版・基調インフレ率と日銀の全国CPI基調インフレ率（前年比・％）



（注）資料1に同じ。（出所）総務省、日本銀行より第一生命経済研究所が作成。

（参考文献）

- 星野（2023）「東京都区部版・日銀基調的インフレ率の試算」第一生命経済研究所 Economic Trends
- 星野（2024）「日銀の「第二の力」指標を再現してみた」第一生命経済研究所 Economic Trends
- 川本・中浜・法眼（2015）「消費者物価コア指標とその特性－景気変動との関係を中心に－」日銀レビュー・シリーズ、15-J-11
- 白塚（2015）「消費者物価コア指標のパフォーマンスについて」日銀レビュー・シリーズ、15-J-12
- 尾崎・神保・八木・吉井（2024）「賃金・物価の相互連関を巡る最近の状況について」日銀レビュー 2024-J-2

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

